



滋 臨 技

第307号

だより

発行所 公益社団法人 滋賀県臨床検査技師会
事務局 地方独立行政法人 市立大津市民病院 臨床検査部 滋賀県大津市本宮2-9-9
発行責任者 大 本 和 由 滋臨技ホームページURL <https://samt.securesite.jp>



◇目 次◇

年頭のあいさつ	2
令和4年秋の叙勲の榮に浴して	3
第1回タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会 実技講習会を終えて	4
「検査と健康展」を開催して	6
第45回滋賀県医学検査学会 プログラム	14
青年部研修会報告	15
令和4年度 学術部研修会を開催して	16
令和4年度 滋賀県精度管理報告会のご案内/施設代表者会議のご案内/『令和4年度 会員名簿』について訂正とお詫び	17
令和4年10月定例理事会報告/令和4年11月定例理事会報告	18
令和4年12月定例理事会報告/会員動向	19
臨床検査技師によるワクチン接種始まりました/編集後記	20

令和5年1月1日

年頭のあいさつ



公益社団法人 滋賀県臨床検査技師会
会長 大本 和 由

新年あけましておめでとうございます。

コロナ禍と言われて迎える新年もとうとう3回目となりました。国民への行動制限や飲食店での時短要請等はいつの間になくなってしまった感があります。しかしマスク生活、手指消毒等の感染予防対策は日常化してはいるものの、まだまだ感染者は減ってはいない状況が続いております。会議等のコミュニケーションは対面とオンラインをうまく併用しながら行うことも社会全体に広まっております。当会においても会員の皆様の多大なる

ご理解、ご協力のもと本年も無事に新年を迎えることができました。

昨年は、10月23日に「タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会」の滋賀県で第1回の実技講習を開催させていただき、57名の方が受講され、臨床検査技師の国家資格に新たに追加された業務を行うことができるようになりました。今後も引き続き開催してまいりますので、未受講の方はまずはweb講習を受講の上、ぜひともこの実技講習会を受講していただき、真の医療人としての責任を果たし、県民の皆様に適正な医療を受けていただけるようにご尽力賜りますようお願い申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種のための筋肉内注射の臨床検査技師による実施のための研修についても多くの方に受講いただき感謝申し上げます。そして昨年11月より近江八幡市立総合医療センターの臨床検査技師によるワクチン接種をしていただくようになりました。本当に感謝申し上げます。

そして臨地実習受け入れ施設においては令和6年度までに1名以上の臨地実習指導者を配置することが定められました。そのために、対象のご施設におかれましては、一般社団法人日本臨床検査学教育協議会と一般社団法人日本臨床衛生検査技師会（以下、日臨技）で開催している「臨地実習指導者講習会」（受講については日臨技ホームページの「臨地実習指導者講習会」のバナーにて手続き）を、まずは1名受講していただくようお願い申し上げます。

さらに本年の秋には「全国検査と健康展」の全国中央会場として滋賀県が担当することになりました。県民の皆様への検査と健康に対する関心、臨床検査技師への理解を深めていけるような充実した企画もしてまいります。

国民にとって臨床検査技師はなくてはならない存在として、大きく活躍の場を広げてまいるために、当会役員が一丸となって努力してまいります。

最後に、滋賀県医学検査学会について、本年は「第45回滋賀県医学検査学会」を畑 久勝学会長（済生会滋賀県病院）、村島 智実行委員長（淡海医療センター）のもと、第2地区の担当で2月12日（日）にクサツエストピアホテルにて開催させていただくことになりました。昨年同様、今回も新型コロナウイルス感染防止のため、Zoomをつかったオンライン併用の学会として開催させていただきます。役員一同万全の準備をして臨んでまいりますので、多くの会員の皆様にご参加いただきますようお願い申し上げます。

この一年が会員の皆様および当会にとって良い一年になるようご祈念申し上げ、新年のあいさつとさせていただきます。

令和4年秋の叙勲の栄に浴して

坂田 専藏



この度、公益社団法人滋賀県臨床検査技師会のご推挙を頂き、令和4年度秋の叙勲におきまして保健衛生功勞により瑞寶雙光章の栄に浴しました。

本受章は私にとっては身に余る光榮と存じておりますとともに、当会会員および役員の皆様のお陰と心より感謝申し上げます。

令和4年11月22日にピアザ淡海大会議室にて伝達式があり、三日月知事様より叙勲授与の伝達を受け、勲記・受章を賜りました。

今年も令和2年以降と同様に新型コロナウイルスの感染防止のため、皇居での拝謁式は中止となり「宮殿内見学と写真撮影を実施することを予定しております」と内閣府賞勲局から通達がありました。

振り返ってみますと、昭和50年に社会福祉法人恩賜財団済生会滋賀県病院臨床検査科に入職し、在職中は検査科の改革・発展に努めて参りました。中でも在庫発注システムをCOBOLでプログラム作成し、検査科在庫発注システムを全国でも先駆けて導入し、学会発表しました。また、今では検査科システムでは一般的になっていますが、血液型や感染症注意マークを患者属性に入れ、何回も同じ検査を出来ないよう、注意喚起したプログラムも作成した事など、新しい検査システムの導入に、県内でもいち早く取り組み、検査科運営・管理に努めたこと懐かしく思い出します。

昭和56年4月より社団法人滋賀県臨床衛生検査技師会（現公益社団法人滋賀県臨床検査技師会）理事をはじめ、研究班班長、法改正委員等の各種委員会の役員や委員を26年間務めて参りました。情報システム委員会やホームページ委員会の委員長担当時には、全国でも早い時期にホームページ立ち上げドメインsamt.jpを取得し、滋賀県の技師会活動状況を全国に発信すると共に、会員間における情報を共有することが出来ました。

また、昭和58年には技師会活動の記録・資料などの散逸を防ぐため、昭和33年の創立以来30年間の資料をまとめた創立30周年記念誌を発行する事となり、その編集委員を務めました。30年という長い期間の資料の収集に苦勞した事が懐かしく思い出されます。

平成25年には第36回滋賀県医学検査学会の学会長を務めさせて頂き、学会運営委員会をはじめ会員の皆様のご協力を得まして、成功裡に終える事が出来ました。

今は、当時の出来事が走馬灯のように懐かしく思い出されます。

今後は微力ではございますが、会の発展に寄与できればと思っております。

終わりにになりましたが、これからの技師会の益々のご発展と会員の皆様のご活躍をご祈念申し上げます。お礼の言葉とさせていただきます。

第1回タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会 実技講習会を終えて

(公社)滋賀県臨床検査技師会 西尾久明



昨年の10月23日(日)滋賀県では第1回目となるタスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会 実技講習会を医療研修施設「ニプロiMEP(アイメップ)」で開催し、無事に終了することができましたのでご報告させていただきます。

元々は3月13日(日)に開催する予定でしたが、コロナ感染急拡大を受けて延期せざるを得ませんでした。基礎講習を終えられた受講者の皆様同様に、実務員の我々も開催までの期間が延びてしまい不安な中での開催となりましたが、講師の先生方の適格でスムーズな講習と受講者皆様の真剣に取り組まれていた姿を拝見すると、実務員として最低限の役割は果たせたかな?と考えております。しかしながら、一部反省点もあったことから、次回の講習会には改善していきたいと思っております。

さて、今回の講習は医師の働き方改革の一環として、臨床検査技師が今後タスク・シフト/シェアできる業務項目を医療法の一部及び臨床検査技師等に関する法律が一部改正された事に伴うものであります。今すぐにも各職場で業務拡大できる内容は少ないかもしれませんが、将来の検査業務を大局的に捉えていただき、検査技師業務の発展につなげていただければと思います。

今年度を含めて、あと4年間は講習を行う予定で考えており、講習会開催案内は開催の2~3ヶ月前までに案内いたします。会員の皆様には、今回の講習の目的をご理解いただき、是非とも受講いただきますようお願いいたします。



関口 涼子 (市立大津市民病院)



実技講習を受けてみて、実際に従事する時には十分な訓練と医師や看護師との綿密なコミュニケーションが必要だと感じました。1日ばかりで長時間の講習会ではありましたが、どのコンテンツも講師の先生の説明が分かりやすく、同じ班の方と協力し合いながら楽しく受講することができました。ありがとうございました。

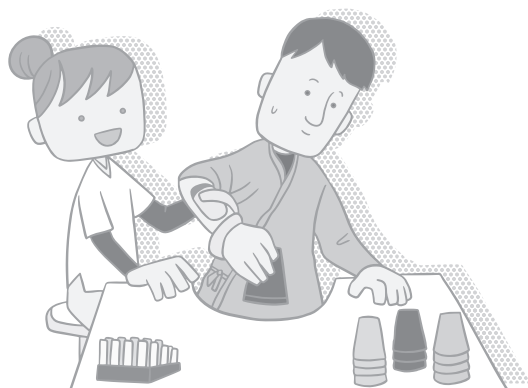


谷村 満知子 (滋賀医科大学医学部附属病院)



タスク・シフト/シェアの実技講習は主に喀痰吸引、内視鏡補佐業務、造影剤注入などのルート確保があり、軽い講義の後に模型を使用して実習が行われました。率直に感じたのは、「これ私にできるの？」でした。今まで患者として受ける側であったのに、実施者側になる事の不安とともに、医療業務の幅がまた一步拡大したことのワクワクを感じました。私も検査技師歴25年の病理所属ですが、検査技師業務範囲は年々拡張され、自らもアップデートしつづける必要性を感じています。

未受講の方も是非ワクワクを体感していただきたいと思います。



黒川 陽子 (彦根市立病院)



動画視聴、講師によるデモンストレーション、受講生による実技講習という流れで、要点を繰り返し確認することができました。また模型やシミュレーターとともに、生検鉗子や三方活栓など一部実物を使用することで、現場をイメージしながら実習を行うことができました。静脈路確保や吸引痰等、見慣れているはずの手技でも実際体験してみると意外と難しく、各所属施設でさらに研鑽を積む環境整備が必要であると考えます。

筒川 美裕 (東近江市蒲生医療センター)



今回の実技講習会を終えて、どの講習も初めて触る器具や手技に練習だと分かっていても、とても緊張しました。実際に患者さんを相手に、不安がないように声掛けをしながら手技をされる医師や看護師の方々の苦労を一部でも知ることができ、大変勉強になりました。最後になりましたが、今回の講習会を開催するにあたり、ご指導頂きました先生方、理事会の皆様ありがとうございました。



藤野 正晃 (滋賀県健康づくり財団)



今回、タスク・シフト/シェアとして追加される業務は医療を受ける患者さんへの良質で適正な医療を医師と連携して効率よく届けるためであり、私共、健康づくり財団職員も健診業務の中で活かすことができるよう、積極的に受講をさせていただきました。実技講習はカリキュラムが工夫され、講師の先生方も楽しい雰囲気を進めていただけましたので、1日充実した講習会になりました。滋賀県臨床検査技師会、講師の皆様にご感謝申し上げます。



「検査と健康展」を開催して



公益活動部 谷 和 也

令和4年11月13日イオンモール草津にて「検査と健康展」を開催しました。昨年同様、検温や手指・物品の消毒、飛沫防止シート設置等、新型コロナウイルス感染対策を徹底して行いました。今年は風船やお菓子のプレゼントの他、献血ちゃんの着ぐるみなど子供向けの企画を用意し、親子連れの方々にもたくさん参加していただきました。192名の参加でした。

簡易貧血検査・認知症検査・乳がん触診体験などでご自身の健康と臨床検査に関心を持っていただくと共に、健康診断やがん検診を受ける事の大切さをお伝えしました。中でも顕微鏡体験や超音波検査体験は面白かったとの意見が多く、アンケートの中には好中球などの絵を描いてくれたものもあり、子供たちから大人の方々まで楽しく参加してくれたのだなと嬉しく思いました。また、「どうすればこの職に就けるのか」「学校は何年行くのか」など、将来の進路として臨床検査技師を考えた積極的な声もいただきました。

来年、全国「検査と健康展」の中央会場を滋賀県が開催する事となっております。公益活動推進委員及び公益活動担当理事が中心となって準備を進めていきます。興味をもってくれた学生や保護者向けへの情報提供を含め、更に臨床検査のことを広く一般の方々に知っていただけるよう企画してまいろうと思えます。

「検査と健康展」は直接市民の皆様や子供たちとふれあえる、そし喜んでもらえる楽しいイベントです。技師会会員の皆様もぜひスタッフとして参加してみませんか。公益活動推進委員に興味を持たれた方はお近くの理事または委員までお知らせください。





DIAGNOSTICS

Alinity・AlinIQは未来に向けたトータルソリューションとして、
変化し続ける医療環境の中で生まれるお客様ごとの課題に対する
解決策を提案します。



アボットジャパン合同会社 診断薬・機器事業部

〒108-6305 東京都港区三田3-5-27 住友不動産三田ツインビル西館
TEL. 03-4555-1000 URL: <http://www.abbott.co.jp>

©2022 Abbott. All rights reserved. All trademarks referenced are trademarks of either the Abbott group of companies or their respective owners. Any photos displayed are for illustrative purposes only. Any person depicted in such photos may be a model. ADD-140322-JAP-JA 07/22

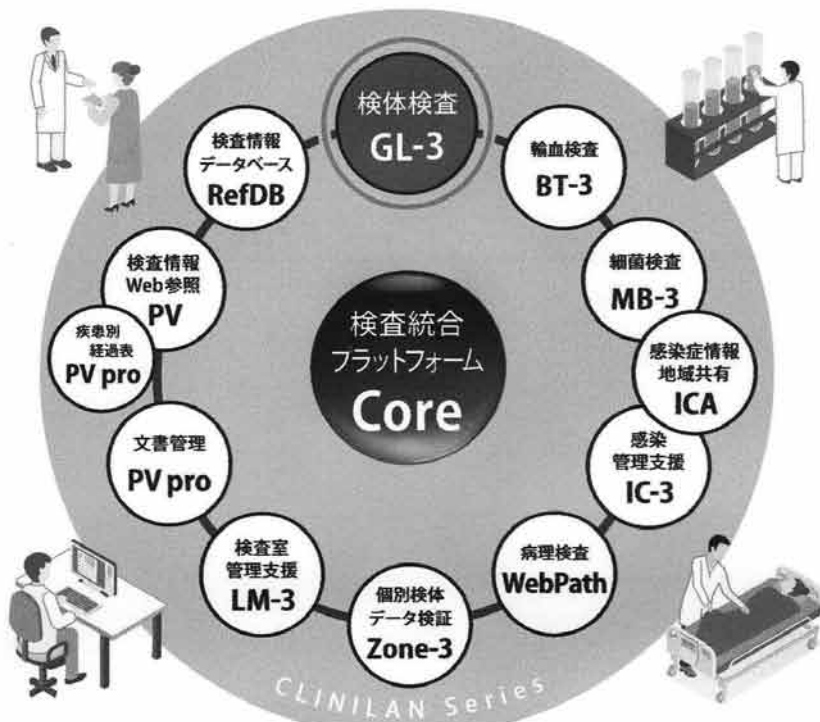
販売名: Alinity i システム
製造販売届出番号: 12B1X00001000032

販売名: Alinity m システム
製造販売届出番号: 12B1X00001000037

販売名: Alinity h システム
製造販売届出番号: 12B1X00001000033

臨床検査情報システム

CLINILANが、検査室をreDESIGNする



臨床検査情報システム [検体検査] CLINILAN GL-3

検査の状況をリアルタイム監視

検査の遅延や測定エラー、精度管理の異常情報を自動更新

クイックアクション機能

業務フローに合わせて、ファンクションキーやリンクボタンをマスターで設定可能

進化したマスターメンテナンス機能

マスター設定はステップガイドに沿って簡単に行え、メンテナンス性が向上

検査情報マネジメント

アクセス権限の設定、検査情報の参照・変更履歴の抽出などにより、検査室の品質を保障

精度管理業務の支援

X-R, X-Rs, X-s管理図の表示機能などを搭載し、精度管理におけるデータ管理業務を効率化

TAT 検査所要時間

検査室改善のための指標や、検査結果を判断する付加情報として、TAT情報を活用

検体検査自動化システム



進化しつづける CLINILOG

検査室の業務改善の答えがここに



なくてはならない検査室

検査室の業務改善に必要なことは何か？

どう実践するか？

CLINILOG V4が答えを知っています

ワンストップオペレーション

動線を減らし、検査業務の集中管理を可能にします。人による作業を減らすことで検査所要時間(TAT)を短縮し、品質を高めます。

高速

いかに検体を高速に処理し、装置の処理能力を落とすことなく結果を出すか。診療部門への結果報告を早めるために、高速処理を追求しました。

省スペース

高速・パワフルなシステムでありながら、少ないスペースに設置。運用にあわせて柔軟なレイアウトが可能です。

A&T 株式会社 エイアンドティー

〒221-0056 神奈川県横浜市神奈川区金港町2-6 横浜プラザビル
Tel.045(440)5810

<https://www.aandt.co.jp/>

さらに詳しい情報はこちらから >





体外診断用医薬品

製造販売承認番号 21700AMZ00817000

自動分析装置用試薬
汎用検査用亜鉛キット

アキュラスオート Zn

臨床的意義

亜鉛(Zn)はDNAポリメラーゼを始めとする100種類以上の酵素に含まれ、タンパク質合成、ホルモン活性発現など、正常な生命維持に不可欠な微量元素です。発生・成長、組織の修復、骨の維持、生殖・感覚・食欲・免疫機能など生体内の様々な機能が亜鉛に依存されて維持されており、亜鉛欠乏の検出は疾患の治療に結びつく重要な情報の一つとなります。

亜鉛欠乏の症状：味覚・嗅覚障害、食欲低下、皮膚炎、脱毛症、創傷治癒の遅延、気力・活力低下 など

アキュラスオート Znの特長

- ＊ 血清、血漿および尿中の亜鉛濃度を測定できます
- ＊ 検体の前処理を必要としません
- ＊ 原子吸光法との相関が良好です



■ 包装単位 ■

統一商品コード	品名	識別記号	規格	統一商品コード	品名	規格
< 別売品 >						
326054268	アキュラスオート Zn R-I 緩衝液		12mL×2	326052936	Zn標準液(200μg/dL)	10mL×1
326054275	R-II 呈色液		5.5mL×2	326055722	亜鉛コントロール(100μg/dL)	10mL×1

326062942	アキュラスオート Zn R-I 緩衝液 R-II 呈色液	HLS	28.6mL×2 12.2mL×2	*「R-I 緩衝液」、「R-II 呈色液」は別売です。 但し、識別記号 HLS、(55) はセット規格です。		

326062478	アキュラスオート Zn R-I 緩衝液 R-II 呈色液	(55)	20mL×2 9.5mL×2			

亜鉛を自動分析装置で測定しませんか？

製造販売元 株式会社シノテスト

神奈川県相模原市南区大野台 4-1-93

<http://www.shino-test.co.jp>

《問い合わせ先》

株式会社シノテスト カスタマーサポート

TEL 0120-66-1141

FAX 042-753-1892

公益社団法人 滋賀県臨床検査技師会

Event Schedule table

令和5年 2月～4月行事予定表

一般県民の参加
歓迎します。

2月

3月

4月

参加費無料

1 水	定例理事会		1 土	
2 木			2 日	
3 金			3 月	
4 土	臨床一般部門		4 火	
5 日			5 水	定例理事会
6 月			6 木	
7 火			7 金	
8 水			8 土	
9 木			9 日	
10 金			10 月	
11 土	建国記念の日 臨床血液部門		11 火	
12 日	第45回滋賀県医学検査学会	タスク・シフト/シエアに関する厚生労働大臣指定講習会 実技講習会 (第2回)	12 水	
13 月			13 木	
14 火			14 金	
15 水			15 土	
16 木			16 日	
17 金	臨床生理部門		17 月	
18 土			18 火	
19 日			19 水	
20 月			20 木	
21 火		春分の日	21 金	
22 水			22 土	
23 木	天皇誕生日		23 日	
24 金			24 月	
25 土			25 火	
26 日			26 水	
27 月			27 木	
28 火			28 金	
			29 土	昭和の日
			30 日	
			31 金	

2月4日(土)

14:00 ~ 16:00

**臨床一般部門**

内容：第5回臨床一般部門研修会
スライドカンファレンス（症例検討）
講師：症例① 新井 未来（済生会滋賀県病院）
症例② 林 裕司（滋賀医科大学医学部附属病院）
症例③ 山田 真以（彦根市立病院）
会場：オンライン配信
参加費：無料
問合先：済生会滋賀県病院 新井 未来
TEL：077-552-1221（内線 3520）

2月11日(土)

14:00 ~ 15:30

**臨床血液部門 / 日臨床生涯教育推進研修会**

内容：第4回臨床血液部門・遺伝子染色体部門合同研修会
血液疾患治療の変遷～分子標的薬のもたらした変化～
講師：辻 将公 先生（大津赤十字病院 副院長）
会場：オンライン配信
参加費：無料
問合先：大津赤十字病院 橋口 篤
TEL：077-522-4131

2月17日(金)

19:00 ~ 20:30

**臨床生理部門 / 日臨床生涯教育推進研修会**

内容：第6回臨床生理研修会
神経伝導速度検査
講師：山川 勇 医師（滋賀医科大学医学部附属病院 脳神経内科）
会場：草津市立市民交流プラザ フェリ工商草津 5階 中会議室
参加費：日臨床会員200円、地臨床のみ会員700円
非会員2,000円
問合先：淡海医療センター 中島 辰也
TEL：077-563-8866



一般県民向けの講座です

医療従事者向けの講座です

学生

学生向けの講座です

SAMT

会員向けの講座です

※研修会予定表につきましては、変更することもありますので、詳細につきましては医師会ホームページ内の行事予定表をご確認ください。

**公益社団法人 滋賀県臨床検査技師会**

事務局：地方独立行政法人 市立大津市民病院 臨床検査部 滋賀県大津市本宮 2-9-9

滋臨技 HP <https://samt.securesite.jp>**詳細については、HP をご覧下さい****滋臨技 HP <https://samt.securesite.jp>**

人と医療を科学する・・・

「先生の検査室」をめざして



MEDICAL INFORMATION CENTER

株式会社 メディック



ISO15189認定
滋賀



滋賀・三重・奈良・大阪



米国臨床病理医協会(CAP)認定
滋賀



No.0713-ISO9001
滋賀・北滋・京都



滋賀本社

滋賀県野洲市富波乙592

077-588-3456

北滋ラボ

滋賀県彦根市後三条町327-1

0749-26-1255

京都ラボ

京都府京都市山科区大塚壇ノ浦46-2

075-594-8181

他グループ拠点：兵庫/大阪/和歌山/三重/奈良/岐阜/愛知/静岡/長野/神奈川

<http://www.medic-grp.co.jp>

FUJIFILM
Value from Innovation

Wako

測定装置 血中 β -D-グルカン、エンドキシンの同時定量測定が可能です

微生物由来成分分析装置
リムセイブ MT-7500

LIMUSAVE MT-7500

医療機器届出番号 14B1X10022000132

発色合成基質法(β -グルカン シングルM30テストワコー)の測定に対応し、測定時間20分を実現

本体は最大10テストを同時測定
拡張モジュールの接続により、最大30テストの同時測定が可能

コンパクト設計(設置面積:トキシノメーター MT-6500比約32%減)
本体のみで測定依頼、結果の出力、保存、印刷が可能



測定試薬 1テスト1バイアル仕様で試薬調製によるロスがありません

(1→3)- β -D-グルカン測定用

NEW

β -グルカン シングルM30テストワコー (発色合成基質法)

体外診断用医薬品 承認番号30200EZ00042000

使用目的 ▶ 深在性真菌感染の診断補助

※従来試薬 β -グルカン テストワコー (比濁時間分析法) も使用可能です

エンドキシニン測定用

エンドキシニン-シングルテストワコー

体外診断用医薬品 承認番号20600AMZ00967000

使用目的 ▶ 重症グラム陰性菌感染の診断の補助、
またはエンドキシニン血症の病態を示す各種疾患の診断の補助等

【体外診断用医薬品製造販売業者】【販売業者】

富士フイルム 和光純薬株式会社
〒540-8605 大阪市中央区道修町三丁目1番2号

【問い合わせ先】

臨床検査薬 カスタマーサポートセンター
Tel: 03-3270-9134(ダイヤルイン)

【医療機器製造販売業者】

富士フイルム株式会社

第45回滋賀県医学検査学会 プログラム

◆開催日時: 令和5年2月12日(日) 8:55~12:45

◆会場: クサツエストピアホテル(オンライン配信会場)

【開会式】 8:55~9:00 学会長 畑 久勝(済生会滋賀県病院)

【一般演題】

■臨床免疫化学部門 9:00 ~ 9:09 座長 松田 哲明 大津赤十字病院

1. ISO15189取得に向けて ~免疫・化学部門ですべきこと~
前田 知広(近江八幡市立総合医療センター)

■臨床微生物部門(1) 9:10 ~ 9:37 座長 木下 愛 滋賀医科大学医学部附属病院

2. 血液培養より*Lactobacillus paracasei* subsp.*paracasei*を分離した菌血症の1例
秋井 啓輔(滋賀県立総合病院)
3. 血液培養から多剤耐性*Streptococcus mitis/oralis*を分離した1症例
瀧本 奈穂(滋賀県立総合病院)
4. 当院の血液培養前処理方法を用いた「Qライン極東®PBP2」の精度向上に関する評価
中村 華菜(彦根市立病院)

■臨床生理部門 9:38 ~ 9:56 座長 中島 辰也 淡海医療センター

5. 嚥下にて誘発される発作性心房頻拍の一例
辻井 智圭(滋賀県立総合病院)
6. デュシャンヌ型筋ジストロフィー患者の心電図指標より見る長期予後
遠藤 拓海(長浜バイオ大学 フロンティアバイオサイエンス学科 臨床検査学コース)

■臨床病理細胞部門 9:57 ~ 10:06 座長 土田 弘次 長浜赤十字病院

7. 大腸癌における HER2/neu(4BS)《IHC法》の検討
水上 利嗣(株式会社 TNR病理センター)

■臨床血液部門 10:07 ~ 10:16 座長 橋口 篤 大津赤十字病院

8. PT、APTTクロスミキシングテストより術後早期に後天性血友病Aと診断された1例
河並 香央理(済生会滋賀県病院)

■輸血細胞治療部門 10:17 ~ 10:26 座長 山中 博之 近江八幡市立総合医療センター

9. 当院での自己フィブリン糊作成について
小室 伸子(滋賀医科大学医学部附属病院)

■チーム医療部門 10:27 ~ 10:36 座長 近澤 秀己 近江八幡市立総合医療センター

10. 当院における新型コロナウイルスに対する検査科の取り組み
北村 美沙希(彦根市立病院)

■臨床微生物部門(2) 10:37 ~ 11:04 座長 近澤 秀己 近江八幡市立総合医療センター

11. 当院における血液培養採取量と陽性率の検討
長谷川 美佳(滋賀医科大学医学部附属病院)
12. Small-Colony Variantを疑う*Escherichia coli*が検出された2症例
谷川 翔平(滋賀医科大学医学部附属病院)
13. カテーテル尿より炭酸ガス依存性の*Escherichia coli*を検出した1症例
西野 広将(長浜赤十字病院)

【第25回 いぶき賞 受賞講演】

11:05~11:15

座長 滋賀医科大学医学部附属病院 湯本 浩史

カンジダ選択分離培地の簡易同定に関する比較検討

滋賀医科大学医学部附属病院 検査部 塚口 扶美枝 先生

【表彰式】 (いぶき賞表彰、永年会員表彰)

11:15~11:20

【休憩】

11:20~11:25

【特別企画】

11:25~11:55

座長 淡海医療センター 村島 智

タスク・シフト/シェアにおいて臨床検査技師がなすべきこと

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 副会長

丸田 秀夫 先生

当院における「経食道超音波検査」、「術中モニタリング検査」の現状と今後の展望

済生会滋賀県病院 臨床検査科 副技師長

西村 康司 先生

【特別講演】

11:55~12:40

座長 済生会滋賀県病院 畑 久勝

PSA検診による前立腺癌診断—最近の全国統計と院内統計から見えてきたもの—

済生会滋賀県病院 ロボット手術センター長 前立腺局所療法センター長 臨床検査センター長

鴨井 和実 先生

【閉会式】 12:40~12:45

実行委員長

村島 智(淡海医療センター)

青年部研修会報告

青年部長 虎谷貴志

この度、青年部では令和4年11月27日に「資格取得に向けたスキルアップ研修会」をテーマに研修会を開催いたしました。

今回は事前に若手技師にむけたアンケートを行い、その中でも資格取得に向けた回答が多く寄せられたので今回の開催に至りました。各検査領域の専門資格や認定資格の取得に意欲的な技師が多い一方で、取得に向けた勉強方法がわからない方や情報の共有・取得ができない環境に悩む方々が多いこともアンケート結果から見えてきました。この結果を受け、青年部会では「認定輸血検査技師」「超音波検査士」「認定および二級微生物」に内容を絞り研修会を開催いたしました。

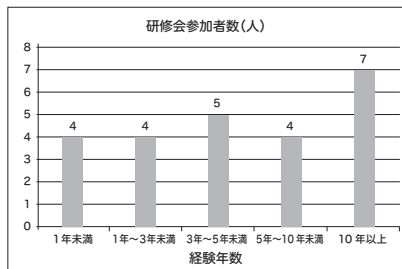
3名の講師の方々には、各認定資格の勉強方法や試験範囲と内容、提出症例の作成ポイント、実技試験のポイントなどをわかりやすく、詳細に講義いただきました。また講義の中で共通していたのは「日々の業務か

ら丁寧にいき、試験を意識しながら技術や知識を身に付けていく」事がアドバイスと感じました。研修会の最後には参加者から「Q&A」をいただきより詳細な情報が得られたとともに、交流も深められたと思っています。

今年度は「資格取得に向けたスキルアップ研修会」をテーマに専門資格を絞って研修会を行いました。資格分野は広く様々な領域の専門・認定資格があります。今後は他の専門・認定資格も研修会に加えていき、更なる情報発信・共有を図りながらスキルアップを目指す方々への一助となる研修会を企画したいと思います。

コロナ禍の影響で Zoom ウェビナー形式での開催となりましたが、多くの方々にご参加いただきまして誠に有難うございました。また青年部研修会を開催するに当たりましては、ご協力いただきました講師3名の方々、そして理事の皆様へ感謝申し上げます。

青年部研修会の参加者数



事前アンケートでいただいた回答

資格取得に対する不安や問題
・資格を持っている人が多くないため直接どのように取得したかなどの話が聞きにくい
・取得している人が少ないので、情報が少ない
・資格が炊きにわたり何を取得してよいかかわからない
・ルーチンで行っていないことが試験の筆記並実技に出ると不安
・ルーチンで関わる機会があまりない検査は学べる場が少ない
・情報共有があまりない
・過去問がない
・本当に取ることができるのか心配
・資格を取っても自己満足で終わることが多い
・資格の維持が大変そう、お金がかかる
・資格取得・維持に費用がかかるが、看護師と異なり病院側にメリットがないので保障がない
・技師会で研修対策を行ってくれると嬉しい

令和4年度 学術部研修会を開催して

滋賀県臨床検査技師会 学術部長
湯本 浩史

令和4年10月29日(土)に「甲状腺疾患について」の学術部研修会を開催しました。

今回の研修会は、免疫化学検査、生理検査、病理検査の技師の方々の講演に加えて、大津赤十字病院 検査部長の谷口孝夫先生にもご講演をいただき、計50名と沢山の方にご参加いただきました。研修会の講師の先生方、ご参加いただきました皆様に感謝申し上げます。

これまで学術部研修会は、各検査部門、および、各医療職の垣根を越えての研修会を企画してきました。昨年度は、「レントゲン・CTの見方」で放射線技師の方にご講演していただき、「腎疾患について」では、管理栄養士の方にご講演をいただきました。

次年度は、タスクシフト / シェア講習会(継続事業)や検査と健康展(全国の担当県)など他の技師会会務が多忙となりますので、学術部研修会が開催できるか微妙でございますが、開催する際には、是非、皆様ご参加ご協力をよろしくお願い致します。また、研修会の開催に関して、ご要望がありましたら最寄りの理事または湯本までご連絡をお願いいたします。

連絡先 学術部長メールアドレス：gakujuutsu@samt.jp ◎を@に変えて送信してください。



学術部研修会に参加して

三田村 由枝 (長浜赤十字病院)

令和4年10月29日学術部研修会「甲状腺疾患について」にWebにて参加しました。

臓器ごとに様々な疾患を各検査部門から多角的に見ていこうとシリーズで開催されている研修会で、毎回楽しみに受講しています。今回は「甲状腺疾患」をテーマに免疫化学、超音波、病理部門の技師が解りやすく説明してくださいました。また、内分泌の医師から、私たちが報告している検査結果をどのように判断して診断に活かしているのか、検査室とのコミュニケーションの重要性、などのお話を聞かせていただきました。医師や看護師など他職種の方とうまく連携するためには幅広い知識を身につけなければいけないと改めて感じました。今後もたくさんの研修会に参加したいと思います。



学術部研修会に参加して

豊川 純史 (彦根市立病院)

本研修会では、甲状腺疾患について総合的に学ぶために技師3名(免疫、生理、病理)と医師1名がご講演されました。技師の講演では、疾患別に免疫化学検査データの読み方や様々なエコー画像の解説および組織・細胞像の解説があり、医師の講演では実際の臨床症例を多数提示して頂きました。病理検査を長く担当し知識に偏りがある私にとって、今回のように多角的な内容の研修会はとても勉強になりました。

日臨技の検査相談やタスクシフトを例にとっても、これからの技師は分野の垣根を超えた総合的な知識が要求されると思いますので、今後もこのような研修会を継続して頂けると有難いです。講師の皆様および企画して頂いた学術部の皆様ありがとうございました。



令和4年度 滋賀県精度管理報告会のご案内

今年度の精度管理全体報告会については、昨年同様オンデマンド配信での報告会を開催させていただきます。

開催日時:令和5年2月25日(土)8:30~3月11日(土)15:30

内容と講師:令和4年度 滋賀県精度管理 各部会代表者による報告

オンデマンド配信 参加方法 (変更が生じた時はHPにてお知らせします)

- ① 滋賀県臨床検査技師会ホームページ(<https://samt.securesite.jp>)へアクセス
- ② 精度管理の令和4年度滋賀県臨床検査精度管理ページをクリック
- ③ 令和4年度滋賀県臨床検査精度管理報告会資料の全体報告会をクリック
- ④ Googleフォームのウィンドウで動画ファイルのリンクを開く
(容量が大きいので通信費用に注意してください:有線LAN、WiFi推奨)
- ⑤ 下段の「次へ」をクリックし、レポートフォームの必要事項を入力し、送信を押す

日臨技生涯点数付与条件はオンデマンド配信でのレポート提出とします。

なお精度管理報告事業の対象者は、滋賀県下の医療施設に従事しサーベイに参加されている方々です。対象外の方でもオンデマンド報告会参照は可能ですが、レポートを提出されても日臨技生涯教育点数は付与させていただきますので、ご了承ください。

問合せ先:滋賀県立総合病院 臨床検査部 梅村茂人 Tel 077-582-5031 PHS 6620

施設代表者会議のご案内

開催日時:令和5年3月25日(土) 14:00

開催形式:ZoomによるWeb開催(事前登録の案内につきましては、後日郵送にて連絡させていただきます。)

問合せ先:株式会社 近畿予防医学研究所 長谷川大祐 Tel 077-522-7664

- ① 県内のタスクシフトについての状況説明、今後の展開について。
- ② 臨地実習についての説明。
- ③ ご施設における日臨技・滋臨技会員の把握について。

上記3題につきまして、情報・意見交換の場とし実施いたしますので、多数のご参加お待ちしております。

『令和4年度 会員名簿』について訂正とお詫び

組織部 長谷川大祐

令和4年10月発行の会員名簿につきまして内容の一部に誤りがございました。

つきましては、以下のとおり訂正させていただきます。

8頁『令和4年度・令和5年度 精度管理委員』

訂正箇所	訂正前	訂正後
8頁、免疫化学部会、委員 一瀬 亮介	独立行政法人国立病院機構 東近江総合医療センター	地方独立行政法人 市立大津市民病院

会員名簿を訂正していただきますようお願い申し上げます。

お手数おかけしまして誠に申し訳ございませんが、何卒よろしくようお願い申し上げます。

一瀬 亮介様、ならびに2施設様にご迷惑おかけして申し訳ございませんでした。

令和4年10月定例理事会報告

開催日：令和4年10月5日（水）17：00～

開催場所：Web会議

出席者：大本、西尾、守安、一岡、西村、長谷川、三雲、小中、谷、足立、曾川、菅沼、湯本、岡本、山藤、梅村、吉田監事

欠席者：阪口監事

1. 報告事項

<日臨技より>

- ・臨地実習指導者講習会について
ワークショップを受講しないと本講習会は修了とはならないとの通達あり。

今後はどこの支部の講習会でも参加可能となる。近畿支部は次回 来年2月に開催予定。

ワークショップ受講における「日本臨床検査学教育協議会」による実技講習の受講費の助成については2023年3月頃までの予定。

9月28日現在、未受講施設が県内に6施設ある。

- ・政策渉外関連事項等における現状把握のための調査協力施設の選定依頼について各都道府県技師会に依頼。各都道府県で4施設依頼希望。大規模1施設、中規模2施設、小規模1施設。期間は1年間とする。
- ・「検査と健康展」事業WG（第1回）令和4年9月20日（火）zoomにて開催。令和5年度中央会場となる滋賀県担当者の出席要請があり、大本会長と谷公益活動部長が今年度開催の愛媛県に視察予定。

<近畿支部関連より>

- ・令和4年9月23日 日臨技理事会事前レク（近畿支部）、近畿支部幹事会が開催され、大本会長が出席。

<政治連盟関連より>

- ・日本臨床検査技師連盟の常任執行委員5名の推薦については、長沢副会長、丸田副会長、深澤専務理事、滝野専務理事、白波瀬執行理事が選任された。

<滋臨技関連より>

- ・タスクシフト実技講習会の再講師依頼書については日臨技から発送を行った。
- ・10月23日のタスクシフト実技講習会に関する補充要員について、梅村理事、谷理事、三雲理事に依頼した。
- ・令和4年度地域医療介護総合確保基金（事業区分6）の追加募集のHP掲載を依頼した。

2. 決議・承認事項

- ・施設代表者会議について。今年もWeb開催とし、臨地実習講習会、タスクシフト講習会などの参加を呼び掛けていく。
- ・第53回滋賀県公衆衛生学会の演題募集について、精度管理部門の一般部会が発表予定。
- ・各学術部門会計に関する書類でのデジタル印の使用について。見本を作成して西村会計部長に確認して頂き、使用の可否を検討する。（継続事項とする）
- ・厚生事業について、今年度も新型コロナウイルス感染状況を鑑み中止とする。
- ・精度管理報告会について、会場の収容能力に依じての開催について承認した。但し、飲食に関しては継続して不可とした。
- ・日臨技からの「政策渉外関連事項等における現状把握のための調査協力施設の選定について（お願い）」。対象施設は県立総合病院、市立大津市民病院、済生会守山市民病院、信楽中央病院に伺ってみる。

令和4年11月定例理事会報告

開催日：令和4年11月2日（水）17：00～

開催場所：Web会議

出席者：大本、西尾、守安、一岡、西村、長谷川、三雲、小中、谷、足立、曾川、菅沼、岡本、山藤、梅村、吉田監事

欠席者：湯本理事 阪口監事

1. 報告事項

<日臨技関連より>

- ・政策渉外関連事項等調査協力施設について、県立総合病院、市立大津市民病院、済生会守山市民病院、信楽中央病院に承認を得た。早速、10/22蛋白分画の実施について（院内実施、外部委託）の調査が行われた。

<政治連盟関連より>

- ・10月19日 令和4年度日本臨床検査技師連盟執行委員会が開催された。
役員を選任が行われ、連盟常任執行委員12名が選任された。

<滋臨技関連より>

- ・坂田専蔵元理事の叙勲内示について10月26日に閣

議決定の連絡がありご本人にお伝えした。

- ・第1回タスクシフト実技講習会が10月23日行われた。57名参加、次回は令和5年3月12日の予定。

2. 決議・承認事項

- ・近江八幡市から臨床検査技師のワクチン接種の要請があり、近江八幡総合医療センターの技師で対応してもらう。
- ・令和4年度都道府県技師会リーダー育成研修会は、期日も迫っており開催は困難と判断し、当技師会は開催しないということで日臨技に報告する。
- ・デジタル印の使用については会計上、問題ないことを阪口監事に確認済み。11月2日以降、デジタル印の領収書も可とする。また、マニュアルの改訂も行っていく。
- ・会員名簿（令和6年分）の役員・部会の連絡先は掲載しない方向でいく。
- ・研修会開催時の新型コロナウイルス感染拡大、荒天や自然災害等による中止・延期のホームページ・会員メール配信での連絡体制について。業務時間外の連絡方法を事務局と広報部メールアドレスを追加変更した。

令和4年12月定例理事会報告

開催日：令和4年12月7日（水）17：30～

開催場所：キラリエ草津

出席者：大本、西尾、守安、一岡、西村、長谷川、
三雲、小中、谷、足立、曾川、菅沼、湯本、
岡本、山藤、梅村

欠席者：阪口監事、吉田監事

1. 報告事項

＜日臨技より＞

- ・日臨技理事会事前レク（11/22）、日臨技理事会（11/23）に大本会長が出席。
- ・日臨技からの都道府県災害対策マニュアルについてのアンケートを大本会長が回答。

＜近畿支部関連より＞

- ・令和4年12月3～4日 第61回近畿医学検査学会が兵庫県で開催された。

＜滋臨技関連より＞

- ・次年度事業計画書の提出期限を12月16日までとする。
- ・第53回滋賀県公衆衛生学会の演題募集の申込み期限を12月27日まで延長。
- ・第45回滋賀県医学検査学会について一般演題は、13演題。
- ・第3回学会準備委員会を開催した。11月24日市立野洲病院とZoom併用
- ・第4回学会準備委員会はクサツエストピアホテルで開催予定。日程調整中。
- ・第2回学術部門長会議の開催について11月18日Zoomオンライン会議次年度の事業計画と、予算案の作成を依頼した。
- ・滋賀医学検査 投稿論文について投稿論文生理検査1編について、3回目の査読を完了。
- ・いぶき賞の楯の金色プレートの購入について。いぶき賞基金より10枚購入予定。

- ・精度管理部11月8日に令和4度第2回精度管理委員会代表者会議を野洲会議室で開催。各部会の報告会は12月～1月にかけて1部会を除いてWeb開催される。

全体報告会は令和5年2月25日（土）～3月11日（土）にオンデマンド配信で開催する。

- ・検査と健康展が11月13日（イオンモール草津）おこなわれた。
- ・タスクシフト講習会3月12日（日）案内文は1月5日予定、申し込み期間は令和5年1月11日（水）～令和5年2月28日（火）令和5年度は10月22日（日）予約済（確定）

2. 決議・承認事項

- ・滋賀学会で長浜バイオ大学の学生発表をして頂くことを全会一致した。
- ・令和4年度子宮がん検診従事者講習会の共催名義について承認する。
- ・タスクシフト受講者促進については、今後も各施設で呼び掛けていく。将来的には他府県の受講者も受講できるようになる予定。
- ・技師会主催の行事開催について「令和4年10月以降の滋賀県臨床検査技師会主催の行事開催について」改定について。滋賀県がステージ分類を見直したため、上記文書も改定することとした。現地開催の研修会に他府県講師、他府県会員も参加可能とする。
- ・学術部 ・共催申請（病理技術向上講座）について共催を承認する。
- ・公益活動部 ・全国検査と健康展全国会場の実行委員会については、公益活動委員6名と理事4名（大本会長、西尾副会長、一岡理事、谷公益部部长）の計10名とする。
- ・インボイス制度（適格請求書等保存方式）の説明会、研修会の必要性について。当会に必要であるかどうか、一度、阪口監事に相談する。

会 員 動 向

2022年10月1日～2022年12月31日

(敬称略・順不同)

※は滋賀のみ会員

新入会・再入会

会員番号	氏名	施設名
738669	森田正登	大津赤十字病院

異動

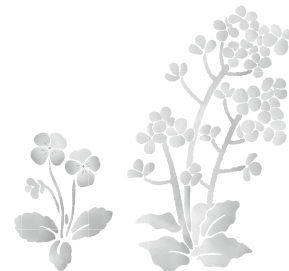
会員番号	氏名	施設名
711402	南多加恵	市立野洲病院
250106	桐畑佳代子	自宅

転入

会員番号	氏名	施設名
725970	小林雅	国立病院機構 東近江総合医療センター
732682	小原直大	医療法人双葉会 清水産婦人科

退会・転出

会員番号	氏名	施設名
728506	赤崎勇希	自宅
250206	清水馨	自宅
254510	北野佳美	自宅
730679	井口航平	滋賀医科大医学部附属病院





臨床検査技師によるワクチン接種が始まりました



新型コロナウイルスワクチン接種受講済みの7名

滋賀県は臨床検査技師による新型コロナワクチン接種を実施していませんでした。

近江八幡市についても、集団ワクチン接種は当院（近江八幡市立総合医療センター）の看護師を中心に行っています。3年という長期期間の運用を看護師だけで対応していくことが厳しい状況になってきており、昨年6月に法整備された臨床検査技師によるワクチン接種の実施を検討された結果、看護師の業務軽減として10月に当院の臨床検査技師に対してワクチン接種実施の要望が出されました。

これを受けて当院7名の技師が手を挙げました。「座学」修了後、近江八幡市として当院看護師指導の下、11月14日、16日に実技研修（動画視聴後、シミュレーターによる実技講習）を受講しました。11月18日に1名デビューし、私は11月21日に集団接種会場でワクチン接種デビューしました。

接種ブースは3ブースあり、1ブースを臨床検査技師が担当することになっていました。看護師とペアを組み、問診役と打ち役に分かれるのですが、問診役は、検査技師は従事しないらしく、打ち役に徹する形でした。

緊張もありましたが、慣れてくると結構楽しく従事出来ました。採血業務に比べると負担も少なく、3時間で150名程度接種しました。

これを機に、県内でも臨床検査技師によるワクチン接種が広がっていけば良いと思います。

近江八幡市立総合医療センター 西村 精児

編集後記

広報を担当後に悩ましく感じるのは、「文章がうまく書けないなあ・・・」と。

もともと国語は苦手でもあり悩みの1つ。そんなとき、本棚を整理していると、ある書籍が目に入り読み返すと。

【抜粋】

—メモを活用しよう—

人は毎日、いろいろなことに出会い、様々な経験を重ねています。一方で、人はものを忘れます。せつかくの経験を日々消しています。この間をつな

ぐのが「メモ」です。

- ① メモしておく、貴重な経験・材料が残る
- ② メモすれば、無理せずに要点をひろえる
- ③ メモは思いつきをどんどん記しておくだけでいい
- ④ 何でも、いつでも、どこでも貴重な材料をゲットする
- ⑤ 地図やイラストなどを入れるのも良い
- ⑥ メモはプチ原稿でもある

著書『すっきり！わかりやすい！文章が書ける』

著者：高橋俊一

よし、今年はこれでいこう！！

三雲（広報）

第307号滋臨技だより

2023年2月1日

発行所：滋賀県臨床検査技師会

編集者：三雲 明弘

岡本 明子

西尾 久明

印刷：近江印刷株式会社

技師会では、皆様のご意見・ご要望をお待ちしております。

事務局 地方独立行政法人 市立大津市民病院 臨床検査部
滋賀県大津市本宮2-9-9

E-Mail samtjimukyoku@samt.jp

